



UNITE FOR GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリー会長のメッセージ

会長 布施 孝 尚

幹事 加藤 亮 夫

会報 猪股 育 夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327



ガバナー月信



佐沼RCホームページ

第2967回例会 2025. 9. 11 No.9

〈ガバナー公式訪問 於：サンシャイン佐沼 18:00~〉

本日の出席率

・本日の出席率 90.38%

ニコニコボックス

- ・加藤雄彦ガバナー クラブ会員のご健康、事業繁栄そしてクラブのご発展をお祈りいたします。
- ・高橋利光ガバナー補佐 加藤雄彦ガバナーを歓迎。
本日はご指導の程よろしく願いいたします。
- ・布施孝尚会長 加藤雄彦ガバナーを歓迎いたします。
- ・阿部泰彦会員 加藤雄彦ガバナーを歓迎して。
- ・高田次雄会員 加藤雄彦ガバナー、本日の公式訪問大歓迎いたします。
- ・菅原慶一会員 加藤雄彦ガバナー歓迎いたします。
- ・及川昭宏会員 登米の地へようこそいらっしゃいました。勉強させていただきます。
- ・千葉正宏会員 加藤雄彦ガバナー、遠い所ありがとうございました。
- ・加藤亮幹事以下 加藤雄彦ガバナーを歓迎して。
佐藤敬喜会員 千葉吉男会員 氏家良典会員
佐竹孝行会員 佐々木源悦会員 岩渕正彦会員
熊谷敏明会員 富士原裕子会員 武川毅会員
太田陽平会員 佐藤早智子会員 佐藤哲弥会員
志賀昭洋員 伊藤秀雄会員 村上正弘会員
渡辺光太郎会員 岡本健一会員 齋藤力会員
森田陽子会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 布施孝尚会長

みなさん、おばんでございます。本日は、加藤雄彦ガバナーをお迎えしての公式訪問でございます。

本日は、昼間の例会はお休みとし、夜間例会ということで、多くの皆さまにご参加を賜わり、心より感謝申し上げます。

この公式訪問例会に先立ちまして、ガバナーと会長・幹事会を行い、これからのロータリークラブの活動の在り方や、我々の親クラブであります仙台ロータリークラブとの交流についてなど、幅広くご教示をいただきました。

また、来月10月5日(日)に開催されます「登米市産業フェスティバル」へのブース出展についても、広報活動には会員一人ひとりの理解を深めていく必要があること、さらには、東和町米川にある仙台育英学園雪雪校舎で学ばれているインドネシアの学生さんの参加協力についても貴重なご示唆をいただきました。

先に申し上げました事を踏まえ、今後佐沼ロータリー活動は、クラブの枠を超え、より広がりを持った取り組みへと発展していくものと期待しております。私たちは一企業人として社会の中で生業を営むとともに、ロータリークラブの基本理念に基づき、職業を通じて社会に奉仕する責務を担っております。

本年、創立60周年を迎え、新たなスタートを切るにふさわしい節目の年となりました。これまでの歴史を礎としながら、新たな歩みを進める契機として、本日は加藤ガバナーから貴重なお話を賜れば幸に存じます。

本日のひとときが、会員の皆さまにとって「これからのロータリークラブ」に向けた新たな一歩を踏み出すきっかけとなりますことを心から願います。

どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 加藤亮幹事

- ・米山記念奨学会より
60周年記念事業特別寄付に対するお礼状が届く
- ・塩釜RCより
米山奨学生派遣依頼に対する承諾
日 時 10月2日(木) 12:30~13:30
(例会時スピーチ)

- 会 場 ホテルサンシャイン佐沼
- 奨学生 ゴテリヴァ・アメリンダチカス・アグリッピナさん
- ・登米市絵本原画展実行委員会より
第23回登米市絵本原画展の協賛依頼
- ・佐沼高等学校ETAより
ETA総会資料及びETA日より第77号が届く
- ・築館RC、栗駒RCより、活動計画書が届く

各委員会報告

- ・社会奉仕委員会（伊藤秀雄委員長）
「ダメ。ゼッタイ。」募金を2回に渡ってお願いしましたところ、募金額が29,200円となり送金しましたので、ご報告いたします。

◎講話（加藤雄彦ガバナー）

皆さん、おばんでございます。仙台ロータリークラブから参りました加藤雄彦でございます。

私は、7月1日付でなく9月1日付でガバナーノミニーになりました。手続の関係で認証が2ヶ月遅れました。先程、高橋利光ガバナー補佐が私の紹介で、加藤ガバナーは良く勉強されているとおっしゃいましたが、そういった理由で勉強する時間が少なく、毎日勉強するしかありませんでした。久しぶりに大学を受験する受験生になった気持ちになりました。

2025年2月に開催された国際協議会において、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクト（2025年6月8日辞任）は「よいことをするために団結しよう（UNITE FOR GOOD）」というメッセージのもと、冒険心と挑戦の大切さを、力強く私たちガバナーエレクトに訴えかけました。

マリオ会長エレクトの突然の辞任を受け、新たな会長エレクトとして、イタリアのフランチェスコ・アレツォ氏が選出され、2025年7月1日よりRI会長に就任、会長メッセージは予定通り「よいことをするために団結しよう（UNITE FOR GOOD）」が継承されました。UNITEというのは団結です。このメッセージは、政治・地理・イデオロギーなどで分断が進む世界において、ロータリーが結束の力となることを願い発信されたものです。ロータリーは、奉仕プロジェクトを通じて、人種・宗教・職業の壁を越え、さまざまな人々をつなぎ「地域社会でよいことを行う」という共通の使命に向かって活動してまいります。

ガバナーエレクトとして、アメリカ、フロリダでガバナーの勉強をしましたが、勉強する期間は、世界の人たちと仲良くできて、ほんとうに楽しく、ロータリーはこんなに楽しいところだと感じました。ロータリーには、もう一つ面白くて楽しいイベントがあります。それは国際大会です。来年の6月台湾で開催されます。多くの方々に参加していただき、楽しみ、いろいろな方と交流することで国際理解を深めていただきたいと思います。

ロータリーには優先事項があります。

1. 適応力を高める。
敏速に対応し、地域社会、クラブ、会員の変わりゆくニーズに応えるために、革新的かつ新しい視点を取り入れる。検討し、更新することにつながる。

2. 参加者の積極的なかわりを促す。

ロータリーに入会し、かわり続ける理由を与えるために、つながりを築き、スキルを身につけ、地域社会に奉仕できる有意義な体験と機会を提供する。

3. パートナーシップ（パートナーを拡げる）

奉仕と変革への情熱を分かちあう新たな参加者とながり、ロータリーを体験する新しい方法を生み出す。

4. インパクト

プロジェクトを分析することで、リソースを効果的に使用しながら、有意義かつ持続的な変化をもたらす。

「会員と共に歩むロータリーの旅」には、変化に対する抵抗という壁もあるでしょう。しかし、私は、リーダーとしてまず自らが勇氣と情熱を持ってその壁を乗り越え、地区が抱える課題に対して「検討し、更新していく（REVIEW&RENEW）」姿勢を示してまいります。それが次なる成長の鍵であると信じています。「世界のためによいことをすれば、地域社会も豊かになる。」この理念を胸に、フランチェスコ・アレツォRI会長と共に、ロータリーの新たな旅路を力強く歩んでまいります。

- ・3-year Rolling Regional Planに於ける2024-2027度地区計画

本年度は、2年目の中間年度になっております。佐沼クラブでは、前年度と同じ組織でスタートしたと聞きました。前年度の実績を分析し、これからの事業を検討し、更新するのに非常に役立つと思います。

佐沼クラブも是非「クラブ優秀賞」獲得に挑戦していただきたいと思います。マイロータリーへの登録が獲得の礎となります。一人でも多くの登録を!!

ロータリー章典に基づく地区組織の改編とそれに紐づく地区予算編成を図り、全国34地区で最も高かった地区賦課金を29,000円に軽減します。

- ・ロータリーの価値観

1. 親睦：お互いに同じ目的を持ち、フェローとして世界のためによいことをしよう。登米市のためによいことをしようという気持ちで実践してほしい。
2. 高潔性：お互いに信頼感を持てるように行動する。
3. 多様性：人種、宗教、職業などの壁を越えて、いろいろな人にロータリアンになっていただく。

4. 奉仕：Surve, I surve（私は奉仕する）

5. 伝授：人の前でロータリーの話をし広げていく。
クラブの目的、目標を設定しても、ノルマを設けてはいけない。

2024-25年度のロータリー活動のポスターを募集したところ、600以上の写真が集まりました。これは、ロータリー公共イメージのポスターコンテスト写真で最後に5枚が選ばれました。その理由は、

1. 自分たちよりも若い世代の人たちがポリオ根絶に対して理解した。
2. UNITE（団結している）を皆んなにしっかり伝えている。

ポリオプラスは、ポリオをなくす、そしてマラリアをなくす。人類史上からポリオをなくして、マラリアをなくすことです。

地域社会がどの様にしてつくられていくか、若い人

たちにいろんなことを考えてもらおうということで、ウクライナ2232地区の女子高生6名を呼んできました。日本の高校生と一緒に何をやるか、自由と平和について何回も話し合いをしました。ウクライナ女子高生の一人から帰国後メールが送られてきました。

「私は日本の高校生が、私たちのような戦時下にある高校生の気持ちをいっしょけんめいサポートしてくれているのが、とてもうれしかった。」と、

その時の様子を、私は歌詞にまとめました。そして作曲していただいたので、その曲をお聴き下さい。

— 高橋利光ガバナー補佐のガバナー紹介にはじまり

ガバナーからとても貴重なお話や映像を見せていただきました。紙面の都合上一部割愛させていただきました。

◎懇親会（司会・進行：岡本健一親睦委員長）

- ・布施孝尚会長あいさつ
- ・加藤雄彦ガバナーあいさつ
- ・乾杯の発声（高田次雄パスト会長）
- ・懇談
- ・ロータリーソング（志賀昭洋会員）
- ・閉会のあいさつ



幸福

2025年(令和7年)9月3日(水曜日) みやぎ 16版 A(14)

児童書教育に役立てて

登米市を拠点に奉仕活動に取り組む佐沼ロータリークラブは、創立60周年記念事業の一環として、児童書などの新刊図書188冊（160万円相当）を市に寄贈した。

地元の子どもたちに読書の楽しさを知ってもらおうと企画。元市長の布施孝尚会長ら会員10人が8月28日に市役所迫総合支所を訪れ、熊谷康信市長に目録を手渡した。

前会長の太田陽平さんら会員は、熊谷市長に「本を読むことで文章能力や読解力が伸び、学力向上につながる」「本は子どもたちの将来にプラスになる。懇談では、自治体などが赤ちゃんと保護者に絵本を贈る「ブック

佐沼ロータリークラブ 登米市に188冊寄贈

スタート」事業の重要さや充実した図書館の整備に話題が広がった。

熊谷市長は「地域の要望を聞き図書館の在り方を検討する」と語った。

佐沼ロータリークラブは1964年7月に仮クラブとして発足し、翌65年6月、国際ロータリーから正式認証された。現会員は56人。市にはこれまで図書やティンパニーを寄贈した。広域合併に伴い登米市が誕生した2005年にはブロンズ像も贈った。

登米市の蔵書は迫と登米の2図書館、中田図書館の計3施設で約12万6800冊。そのほか、市内19の公民館に図書室、図書コーナーがある。（山並太郎）



図書を寄贈し、熊谷市長（右から2人目）と懇談する会員ら